

令和3年度 一人一人の確かな学力のために

3年

		学年の目標	1学期末の児童の様子	3学期末の児童の様子
基礎・基本	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の定着(まとめの50問テスト90点以上を8割以上)を目指します。そのために、小テストを週1回程度行い、間違いは必ず直す習慣を付けます。</li> <li>国語辞典を正しく引く力や習慣を付けます。そのために、必要ときにすぐ辞書を手にとれるよう、マイバッグに入れ、国語の時間には机の上に置く習慣を作ります。</li> <li>物語文、説明文が正しく読み取れるようにします。そのために、根拠となる文章に着目させることを行います。また、あらすじや要約を書くことで文章の要旨を捉えられるようにします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字のまとめ50問テストでは、90点以上が2割程度にとどまりました。引き続き、小テストを定期的に行い、間違いは必ずその場で直す習慣をつけ、ただ書くだけではなく、意味を意識して練習をするなど、日頃から既習漢字を使って文章を書く習慣をつけます。</li> <li>国語辞典の引き方を授業で学習し、様々な場面で分からない言葉が出てくると、辞典を手に取り、語彙を調べる姿がたくさん見られました。</li> <li>物語文では、場面で起こったことや、そのときの人物の気持ちに気を付けて、文章を読むことができました。</li> <li>説明文の学習では、段落の中の中心となる言葉や文を読み取り、要点をつかむことができました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>50問テストでは、90点以上取ることができている児童は、半数以上、再テストを含めると8割程度の児童が取れるようになりました。</li> <li>国語辞典の引き方は正しくできるようになりました。意味の分からない言葉が出てくると、自然に調べる姿も多く見られるようになり、単語を調べる力が付きました。</li> <li>物語文では、登場人物の気持ちに気を付けて、文章を読むことができました。</li> <li>本文の中から考えの根拠となる文章を見付けることができるようになり、読み取りの技術が伸びました。あらすじも言葉説明できる児童が増え、文章の大切なところを読み取れる力が付きました。</li> </ul>
	算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習事項の定着を図るために、計算ドリルを活用して繰り返し問題に取り組みます。必ず答え合わせを行って間違いを直す習慣を付けるようにします。</li> <li>単元のテスト直しを実施し、必ず内容が理解できるようにしていきます。</li> <li>上記の事を行い、知識・技能の項目を全員が9割以上定着できるようにします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>わり算という新しい計算の仕方を学習しました。かけ算の学習も活用するのと、引き続き、既習のかけ算九九の定着を確実なものとしていきます。</li> <li>計算ドリルを学期末に繰り返し解くことができました。</li> <li>知識、技能の項目が8割程度にとどまったので、引き続き、既習事項の定着を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>かけ算の筆算、あまりのあるわり算といった新しく習った計算問題や、円、角などの用語の理解もすることができました。また、コンパスを使っての円や二等辺三角形、正三角形の作図も、自主学習で行ったり、定期的な宿題として出すことで確実に作図することができるようになりました。</li> <li>単元のテスト直しを実施し、内容の理解を確実なものにしていきました。</li> <li>まとめテストから、知識・技能の項目は、6割以上の児童が、正答率8割を超えることができました。</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>読書の習慣を身に付けます。そのために、朝読書の時間、図書の時間を活用し、本に親しみます。読書環境を整え、教科に関連した本を紹介したり、マイブックを用意していつでも本を読めるように指導したり、読書貯金箱(読書カード)に記録し、年間で5000ページを目標にし、随時振り返りをして意欲を高めます。</li> <li>パソコン技能向上のため、インターネットでの検索、ローマ字入力、簡単な発表資料の作り方を指導し、全員ができるようにします。</li> <li>ふるさと学習では組子作りを行います。作るだけでなく、職人の思いなどにも触れ、伝統を大切にす気持ちを育みます。</li> <li>様々な単元を通して世界的に色々な問題があることを知り、身近なことから考え解決しようとする考えを育みます。SDGsを知るきっかけとなるよう指導します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>読書の習慣が身に付き、朝読書、昼読書の時間、図書の時間以外にも、隙間の時間には、静かに本に親しむことができました。また、図鑑の構成と使い方学習し、生き物の特徴を比較した、「生き物ブック」を作成することができました。</li> <li>読書目標5000ページを達成した児童は数名います。</li> <li>タブレットを使用して、江戸川区について、まとめる学習を行うことができました。その際、インターネットでの検索を全員が行うことができ、ローマ字入力は、半分程度の児童が行い、技能向上目指しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>読書活動では、今までより細かい文字で書かれている小説を読んだり、図鑑で細かいところまで読んだり読書の幅が広がりました。5000ページ達成した児童は半数程度になりました。</li> <li>インターネットを使い、調べたい事柄について調べることが全員ができるようになりました。、ローマ字入力は完璧にできる児童は少なく、タイピング練習を重ねて少しずつ打てるようになってきている段階です。</li> <li>様々な単元を通して世界的に色々な問題があることを知りました。身近なことから考え解決しようとする考えを育み、SDGsについてより知るきっかけとなりました。</li> </ul>
思考力・判断力	思考力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> <li>自ら課題解決をする児童を目指します。そのために、授業のはじめにめあてを明確にし、見通しをもって学習に取り組めるようにします。課題解決の流れが分かるようにノート指導を行います。授業の終わりには、児童が、自分の言葉でまとめられることを目指します。</li> <li>自分の考えをもち、友達に伝え合う児童を目指します。そのために、考える時間を十分確保したり、友達の意見を受けたりしながら考えを発表している児童を賞賛し、学び合う力が身に付くようにします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>めあてを明確にすることで、見通しをもって学習に取り組むことができています。自分の考えも入れてノートを書いたり、自分の言葉で学習のまとめが書けるよう、手本を示しながら、全員ができるようにしていきます。</li> <li>伝え合いの学習では、自分の考えをしっかりともった上で、全員が話し合いに臨めることを目指します。また自分の意見に対して、友達の意見を聞いて、比較して考えを述べるができる児童が2割程度いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習している単元やその時間に身に付けるべきめあてを明確にすることで、学習に集中して取り組むことができました。まとめも自分たちの言葉でまとめようとするようになったり、ノートも学習の流れがわかりやすいよう書いたりする児童が6割程度と増えました。</li> <li>発表等で自分の考えを入れて伝えることができる児童が8割以上に増えました。友達の良い所を真似してみたり、「なぜなら」「次に」など接続語を入れて話すことができるようになりました。</li> </ul>
	学習習慣	<ul style="list-style-type: none"> <li>話す・聞く態度を意識できるようにします。そのために、話し方名人、聞き方名人を掲示し、相手の顔を見てうなずきながら最後まで聞くこと、友達に伝えることを意識して話すことを指導します。</li> <li>家庭学習の時間を、毎日45分間(15分×3年生)取り組むことを目指します。そのために、児童の実態に応じて自主学習を推奨したり、模範となる児童の取り組みを紹介し、参考にできるようにします。</li> <li>家庭学習の提出率を95%以上目指します。そのために、未提出児童には声掛けや家庭への連絡を行ったり、児童の実態に応じて隙間時間等に指導したりします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し方名人、聞き方名人を教室に掲示していますが、常に意識できている児童は、半数にとどまっています。聞き手を意識した話し方や、聞く姿勢を保ち、人の話を聞くということを常に意識させていきます。</li> <li>家庭学習は、決められた時間の間、きちんと取り組む習慣がつき、提出率も95%を超えることができました。しかし、自主学習の内容に、大きな差が見られたので、充実した内容になるよう、調べ学習など推奨し、引き続き模範となる児童の取り組みを紹介していきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話す聞く態度はとてもよくなり、7割の児童が常に意識して話を聞くようになりました。最後まで黙って話を聞く力が付いてきました。</li> <li>家庭学習期間では、2学期末と同様、目標の45分間の学習を9割程度の児童が継続して取り組むことができました。</li> <li>宿題の提出は、毎日9割程度の提出率です。家庭学習期間になると意識をしますが、それが継続に結びつけられるようにしていく必要がありました。</li> </ul>